

2018年度 一般社団法人日本臨床化学会 第1回理事会議事録

日時：2018年6月17日（日）13:00～14:15

場所：一橋大学一橋講堂 特別会議室

議長：前川真人 代表理事

出席者：前川真人（代表理事）、大久保滋夫、矢富 裕、山内一由、山田俊幸（以上 常務理事）
植田 成、多田正人、康 東天、黒田直敬、齋藤邦明、坂本秀生、菅野光俊、濱田悦子、
細萱茂実、松本祐之、眞野成康、山口哲史、吉田 博（以上 理事）
岩谷良則、戸塚 実（以上 監事）、石井潤一（第58回年次学術集会長）

欠席者：恵 淑萍（理事）

理事出席者数 18名（全理事 19名）、全出席者数 21名

議 題

1. 開会の辞（前川 代表理事）

・理事総数 18名の出席があり理事会は成立した。代表理事より開会の挨拶があった。

2. 議事録確認者の指名（前川 代表理事）

・濱田悦子 理事、山田俊幸 理事が指名された。

3. 報告事項

1) 庶務報告（矢富 理事）

①学会会員現状報告

・2018年5月20日時点の正会員は1,087名、正会員（評議員）は157名、正会員（30歳未満）は101名となっている旨報告がなされた。

②事業報告・事業計画

・2017年10月の理事会以降に開催された会議、学会誌発行などの報告ならびに本理事会以降に開催予定の年次学術集会、会議、学会誌発行等について報告がなされた。

2) 2017年度利益相反調査報告（多田 法務担当理事）

・2017年度の社員、専門委員会委員の利益相反に関する調査報告がなされた。
・社員 159名、専門委員会委員 73名、合計 232名中、回答者は 191名（82.3%）となっている。
・利益相反ありと回答があった方 20名について確認し、すべて問題なしと判断した。
・回答率 100%になるよう、未回答の方には引き続き事務局より催促を依頼している。

3) 2018年度学会賞・Young Investigator Award 報告（黒田 学術担当理事）

・2018年度の学会賞ならびに YIA の受賞者が決定した旨報告がなされた。技術賞は 4 社、論文賞は 2 名の受賞が決定したため、副賞は 25,000 円/1 名とする。

<学会賞>

学術賞（審査対象 2 件）：渡邊幹夫氏（大阪大学大学院医学系研究科）

奨励賞（審査対象 5 件）：佐藤 亮氏（東京慈恵会医科大学附属柏病院）
中野恵一氏（北海道大学病院）

技術賞（審査対象 4 件）：アボットジャパン株式会社、株式会社 LSI メディエンス、
株式会社シノテスト、富士レビオ株式会社

論文賞（審査対象 10 件）：末廣 寛氏（山口大学大学院医学系研究科）、森恵理子氏（東京大学病院）

<Young Investigator Award (YIA)> （副賞：2 万円）

北海道支部： 山本祐輔氏（北海道大学大学院保健科学院）

東北支部： 山本 肇氏（竹田総合病院）

関東支部： 堀内優奈氏（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科）

甲信越支部： 清水（太田）美穂氏（新潟薬科大学薬学部）

東海・北陸支部： 石田秀和氏（岐阜大学医学部附属病院）

近畿支部： 平井那知氏（大阪大学大学院医学系研究科）

中国支部： 岡崎亮太氏（島根大学医学部）

四国支部： 高門美沙季氏（愛媛大学大学院医学系研究科）

九州支部： 川述由希子氏（九州大学医学部附属病院）

4) 認定関連報告（松本 教育担当理事）

①2018年度認定臨床化学者申請状況報告

- ・2018年度認定化学者の申請状況について報告がなされた。
- ・新規申請者10名、更新申請者13名の申請があった。

②2018年度認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度報告

- ・2017年度の認定試験については、12月2日に東京工科大学で実施された旨報告がなされた。
- ・申請者数 68名、受験者数 66名、合格者 60名であった。
- ・来年度は第1回の更新となるため、更新に伴う講習会を開催する予定。
- ・更新に伴い、認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度規則改定案について報告がなされ承認された。

③2018年度認定臨床化学・免疫化学精度保証管理者制度報告

- ・2017年度の認定試験については、12月2日に東京工科大学で実施された旨報告がなされた。
- ・申請者6名、受験者6名、合格者4名であった。
- ・第3回の認定試験は下記のとおり。
- ・期日：2018年12月15日（土）
- ・会場：東京工科大学（予定）

5) 第57回年次学術集会会計報告（前川 代表理事）

- ・札幌で開催した第57回年次学術集会の会計報告がなされた。

6) 第58回年次学術集会準備状況報告（石井 第58回年次学術集会長）

- ・第58回年次学術集会の石井年会長よりプログラムに関する詳細について報告がなされた。
- ・一般演題はすべてポスターにする。多数参加されたい。

7) 企業シンポジウム報告（山口 理事）

- ・企業懇話会が主催する企業シンポジウムに海外から講師を招聘する件は、昨年度、今年度の企業シンポジウム費の収支報告を考慮して検討する予定である旨報告がなされた。

8) その他（前川 代表理事）

①理事・監事選挙について

- ・2019年3月末に任期満了となる理事・監事の選挙はWEB選挙にて6月29日から投票を開始する。

②黒住財団助成金使途について（プロジェクト追加補助金）

- ・昨年度授与された黒住財団からの助成金について、学術連絡委員会宛に標準化に関するプロジェクトで追加補助の申請を受け付けている。

③第65回日本臨床検査医学会共催シンポジウムについて

- ・詳細は下記のとおり。

日時：11月17日（土）9:00～11:00

コーディネーター：大澤 進先生、池田勝義先生

シンポジウムテーマ：認定臨床化学・免疫化学精度保証管理者（管理検査技師）制度と品質保証体制の強化

座長：前川真人先生（浜松医科大学 臨床検査医学）、池田勝義先生（熊本保健科学大学 保健科学部）

④第43回医用マスペクトル学会年会共催シンポジウムについて

- ・詳細は下記のとおり。

テーマ：臨床化学研究における質量分析の貢献

オーガナイザー：眞野成康先生、中西豊文先生

⑤日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師制度実施機関登録について

- ・日病薬病院薬学認定薬剤師制度実施機関として認定された。

⑥JSCC スポンサーードシンポジウムについて（APFCB 2019 インド；2019.11.17-20）

- ・過去には韓国、バリ島、台湾で開催しており、2019年度はインドで開催予定のため、国際交流委員会にて詳細を検討中。今まで演者に対し学会からの補助はなかったが、旅費などの一部を補助したいという提案があり、金額などについて検討する予定である旨報告がなされた。

⑦会員名簿公開について

- ・学会ホームページにて会員名簿を公開している。更新は年に1回の予定で11月頃を予定している。

4. 審議事項

1) 2017年度決算案（山内 会計担当理事）

①2017年度決算案の詳細について下記のとおり説明がなされた。

<収入>

会費収入：2017年度の決算より、請求ベースでの売上計上方法（売掛金）から、実際の入金ベースでの売上計上方法に変更した。

認定制度収入：内訳は認定臨床化学者：新規申請者10名分（30,000円/1名）、更新申請者12名分（5,000円/1名）、認定臨床化学・免疫化学精度保証管理者：申請料6名分（20,000円/1名）、登録料6名分（5,000円/1名）、指定講習会配布資料99部（1,000円/1部）となっている。

黒住財団助成金：2,500,000円を収入として計上した。

- ・収入合計は25,198,245円となった。

<支出>

年会補助金：2017年度から補冊発行費の支払いをなくし、補助金を50万円増額した。

黒住財団助成金関連費用：黒住財団助成金に関するプロジェクトの費用を計上。この費用を次年度以降特別会計扱いとするか専門家に確認する予定。

- ・支出の合計は23,004,832円となった。上記により、収支差額は2,193,413円の黒字となった。

②2017年度監査報告（岩谷 監事）

- ・2018年5月24日に学会事務局にて岩谷監事、戸塚監事により監査が実施され、正当に執行されている旨確認したとの報告がなされ、2017年度決算案は承認された。

2) 2019年度予算案（山内 会計担当理事）

- ・2019年度の予算案について説明がなされ、2019年度予算案は承認された。

3) 代表理事選出について（細萱 理事）

- ・代表理事の任期は3期まで継続可となっている（細則第19条2）。代表理事の前川真人氏は現在2期目であり、3期目の継続について意思確認をしたところ承諾をいただいたため、前川真人氏の代表理事継続について審議し承認となった。

4) 評議員選出について（前川 代表理事）

- ・POCT専門委員会委員長である白井秀明氏（一般社団法人検査医学標準物質機構）について代表理事より評議員への推薦があり、承認された。

5) 投稿規定について（吉田 理事）

- ・投稿規定について下記の改定について審議がなされ承認された。
 - ・数字と単位の間には半角スペースを空ける。
 - ・慣用単位は準用してよい。
 - ・英文サマリに関する文言を削除する。
 - ・ACBの査読に関する文言ならびにHPアドレスを最新版に変更する。

6) その他

- ・理事会議事録は現在学会誌には掲載しているが、今後は学会ホームページにも掲載する。
- ・学会誌の電子化についても再検討する。メリット・デメリットを考慮して検討していきたい。そのため、会員へのアンケート調査（冊子の存続について）を実施する予定。また、学会誌の中の一部をメール配信することに関しても検討する。その際にはPDFを作って広告データもつけて配信したい。
- ・第59回年次学術集会は2019年9月27日（金）～29日（日）に宮城県仙台市にて開催予定。
- ・第60回年次学術集会は2020年10月30日（金）～11月1日（日）に東京神田にて開催予定。

5. 閉会の辞（前川 代表理事）

- ・前川代表理事より挨拶があり、閉会となった。

以上

議長

前川真人



議事録確認者

山田俊幸



議事録確認者

濱田悦子

